

重点(1)あらゆる人々にとっての男女共同参画の推進

《第3次千葉県男女共同参画計画》平成23年度施策 評価シート

施策コード

1

施策名	ちば県民共生センターにおけるフェスティバルの開催、情報誌の発行
担当課	男女共同参画課（男女共同参画センター）

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	1
2月補正予算額(千円)	2,277			決算額(千円)	2,083		
事業の概要・目的	<p>【フェスティバル】 本県における男女共同参画施策の推進拠点としての当センターの役割や事業を紹介し、身近な施設として県民に知ってもらうことを目標とする。</p> <p>【情報誌】 情報誌として、eパートナーちばを9月末と3月末の年2回（各15,000部）発行する。センター事業や各地域での取り組み等さまざまなテーマを切り口とした内容の情報を広報することで、多くの人に男女共同参画の意識を持つことの重要性を認識してもらい、男女共同参画社会づくりの推進を図る。</p>						
数値目標など	—						
指標名等	—						
目標	—	実績	—				



2 事業実績・評価等

(1) 施策の実施結果

<p>【フェスティバル】 ちばセンターではワークショップと講演会を、東葛飾センターでは講演とトークセッションを行った。 また、県民が楽しめる場として、アトラクション（ちば）や地域推進員の広場（東葛飾）を設けたが好評であった。</p> <p>【情報誌】 eパートナーちばを9月末と3月末の年2回（各15,000部）発行した。</p>	
---	--

(2) 男女共同参画の視点が施策に反映できているか・改善すべき点はないか

<p>〈反映できている点〉</p> <p>【フェスティバル】 ・託児を設け、子育て中でも参加しやすいよう配慮した。</p> <p>【情報誌】 ・フェスティバルや各種講座の概要等を情報誌に掲載することにより、センターでどのような取り組みをしているかについて広報できたとともに、多くの人に男女共同参画の意識や視点を持つきっかけを作ることができた。 ・デートDVを前後篇に渡って取り上げ、主に若い世代に対してDV予防に関する啓発を行うことができた。</p> <p>〈課題・改善すべき点〉</p> <p>【フェスティバル】 ・男性の参加が全体の12%（アンケート結果）と少なく、また、40代以下の参加が20%未満（アンケート結果）であることを考慮し、男性や若い世代の方が興味を持つ内容も取り入れていく必要がある。</p> <p>【情報誌】 ・デートDVを年間を通じた特集として取り上げ、ページを割いたことにより、情報誌の話題を比較的若い世代に絞ってしまった部分がある。</p>
--

3 男女共同参画の視点から施策に課題がある場合、改善するにはどのようにしたらよいか

【フェスティバル】

- ・講演のタイトル、テーマなどは「女性」だけを対象としているという印象を避けるものとする。
- ・家族が誘いあい、参加できる企画を取り入れる。
- ・広報については、一般県民に広く周知するよう、広報紙を利用するのはもとより、チラシの効率的な配布に努める。

【情報誌】

- ・発行が年2回のタイミングに限られているため、号ごとに世代を変えた話題を特集ページにもっていくことにより、より幅広い世代に興味をもって読んでもらえるように取り組む。

4 男女共同参画の視点からの委員意見

講演やワークショップのテーマや内容は努力、工夫されていますが、参加者の固定化の改善や、男性の参加者の拡大を目指してください。女性やセンター近隣の参加者のみならず、県内各地からの参加や幅広い年齢層の方々に参加意欲を持たせるような企画の検討を期待します。

情報誌については、公募の編集委員を増やすことにより、より県民目線の身近な冊子となり、県民の意識の向上にもつながります。

重点(1)あらゆる人々にとっての男女共同参画の推進

《第3次千葉県男女共同参画計画》平成23年度施策 評価シート

施策コード

2

施策名	各種講座・研修会の開催
担当課	男女共同参画課（男女共同参画センター）

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	1
2月補正予算額(千円)	1,186			決算額(千円)	927		
事業の概要・目的	男女共同参画社会の実現を目指し、県民意識の醸成や人材の養成を図るため、県民ニーズに対応した各種講座を企画運営する。						
数値目標など							
指標名等	-						
目標	-	実績	-				



2 事業実績・評価等

(1) 施策の実施結果

【基礎講座】男女共同参画の基本的な知識や考え方を習得する講座

- ① 東日本大震災以降高まっている「防災」について、地域や家庭での危機管理という視点で専門家の話を聴く講座を行った。
- ② 男女共同参画週間記念行事として、家族の新しい形・男性の新しい生き方をテーマに、講演会を開催した。

【啓発講座】男女共同参画の意識啓発のための講座

- ① 子育て中の夫婦を対象に、前半は夫婦間のコミュニケーションの大切さを理解するためのグループワーク、後半は夫と妻のそれぞれに分かれ、夫には子どもを交えて子育ての楽しさを実感する講座、妻には日ごろの家事・育児への御褒美としてメイクアップ講座を行った。
- ② 大学3年生を対象にした就活講座を開催し、若い世代へのアプローチを行った。
- ③ 3割に及ぶ男性介護者に注目し、男性にとっても男女共同参画の視点が不可欠となっている現状を知ってもらうための講座を実施した。

【DV防止講座】

ロールプレイにより日常生活の中に潜むDVについて理解するとともに、パートナーシップの大切さを学ぶための講座を行った。

【コミュニケーション講座】

人として、相互に理解し合うための基本的な手段としてのコミュニケーション力を身につけるため、ロールプレイの手法を用いた講座を行った。

(2) 男女共同参画の視点が施策に反映できているか・改善すべき点はないか

〈反映できている点〉

- ・あらゆる人々にとっての男女共同参画という視点から、女性だけでなく、男性や若い世代に対してもアプローチを行った。
- ・特に、男性の意識啓発を念頭に、参加しやすい形態として夫婦で参加する講座を設けたり、男性の身近な問題として「介護」の問題をテーマとして取り上げた。
- ・ロールプレイやグループワークの手法により、男女共同参画を身近に感じてもらった。

〈課題・改善すべき点〉

- ・男性の講座参加が女性に対して半分程度にとどまっており、また、参加者に一部固定化した50代以上の女性が多いことから、さらに男性や若い世代の取り込みを工夫する必要がある。
- ・DVなどの重い問題について、他人事ではない身近な問題として一般県民に広く知ってもらうための企画を工夫する必要がある。

3 男女共同参画の視点から施策に課題がある場合、改善するにはどのようにしたらよいか

関心が薄い層に「男女共同参画」を知ってもらうためには、足を運んででも聞きたい、参加したいと思う企画を考える必要がある。

センター単独の事業だけでなく、市町村や他のセンターとの協働も視野に入れ、出向いての講座など実施形態も工夫が必要である。

職員自身のエンパワーメントが要求されるため、国立女性教育会館や他の自治体が行なう事業へ積極的に参加していく必要がある。

4 男女共同参画の視点からの委員意見

各講座については、それぞれ創意工夫されており、啓発効果を上げようと努力していることは大変評価できます。

しかし、全体的に参加者が少なく、募集定員に至らないものもあるため、講座内容や広報方法を再度見直す必要があります。

また、県のセンターとしての役割を踏まえ、市町村の男女共同参画センターとの差別化を図ってください。

重点(1)あらゆる人々にとっての男女共同参画の推進

《第3次千葉県男女共同参画計画》平成23年度施策 評価シート

施策コード

3

施策名	ホームページ、メールマガジン等による情報発信
担当課	男女共同参画課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	1
2月補正予算額(千円)	0			決算額(千円)	0		
事業の概要・目的	「ちばの男女共同参画情報マガジン」を毎月2回発行する。また市町村が開催するイベント等を県のホームページに掲載する。						
数値目標など							
指標名等	メールマガジン配信回数						
目標	月2回発行	実績	月2回発行				

2 事業実績・評価等

(1) 施策の実施結果

登録者約1,100人に対し、メールマガジンを月2回発行。

(2) 男女共同参画の視点が施策に反映できているか・改善すべき点はないか

〈反映できている点〉
 インターネットを広報媒体としているため、昼夜問わず、また、女性、男性を問わずメールマガジンを読むことができ、等しく施策の便益が及んでいる。
 以前より登録者が増加し掲載内容も充実した。
 男女共同参画に関する講座や国、県等の施策に関する情報など男女共同参画を促進するための内容を配信できている。

〈課題・改善すべき点〉
 民間企業における、男女共同参画への取り組み状況をこれまで以上に情報発信していく必要がある。
 更なる登録者増加と掲載内容の充実を図っていく必要がある。

3 男女共同参画の視点から施策に課題がある場合、改善するにはどのようにしたらよいか

他のメルマガを参考にしながらフォームの研究等を行い、より親しみやすく読みやすいものにする工夫をする。
 広報で、県民、民間企業等に向けてメルマガの登録の呼び掛けや掲載情報の募集を積極的に行う。

4 男女共同参画の視点からの委員意見

本メールマガジンにより、男女や年齢等にかかわらず、県民が県や市町村の講座等のイベント情報を手軽に入手でき、一定の効果があることは評価できます。
 今後も引き続き、メールマガジン登録者が増加するよう、積極的に広報してください。

重点(1)あらゆる人々にとっての男女共同参画の推進

《第3次千葉県男女共同参画計画》平成23年度施策 評価シート

施策コード

4

施策名	関係機関等が行う研修会等の取組に対する支援
担当課	男女共同参画課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	1
2月補正予算額(千円)	0			決算額(千円)	0		
事業の概要・目的	男女共同参画について理解を深めるため、県職員・教職員に対する研修をはじめ、市町村や企業、各種団体などの依頼により、県職員を講師として派遣する。						
数値目標など							
指標名等	-						
目標	-	実績	-				

2 事業実績・評価等

(1) 施策の実施結果

市町村や教育庁などから研修講師派遣の依頼を受け、当課職員を講師として派遣した。延べ19回 847名に対し男女共同参画についての講義を実施。

(2) 男女共同参画の視点が施策に反映できているか・改善すべき点はないか

〈反映できている点〉

① 企画段階

研修の対象に合わせ、研修資料を調整し理解を深められるようにした。

② 施策の効果

研修後にアンケートを実施し、受講者の理解度や意見に記入する時間を設けた。受講者の感想を読むと、今まで当たり前と感じていたことに対する意識の変化が感じられ、効果があった。

〈課題・改善すべき点〉

前年度と比較すると、講座数が1つ、受講者が204名減少した。講師派遣について、市町村や関係団体へ広報することが必要である。

3 男女共同参画の視点から施策に課題がある場合、改善するにはどのようにしたらよいか

市町村職員や教職員等の集まる会議や研修等で講師派遣について広報し、事業の周知を図ることが必要と思われる。

4 男女共同参画の視点からの委員意見

本事業は市町村や団体から講師派遣の依頼を受けて、男女共同参画課の職員を講師として派遣するものですが、前年度より受講者数が減少していることから、依頼を待つ姿勢から依頼を促す積極的な姿勢が求められます。

例えば年度当初に年間計画を立て、過去5年間に一度も依頼のない市町村・団体等に呼びかけるなど、戦略的に推進することが必要です。

研修の内容についても、男女共同参画に関する一般論的な内容にとらわれず、受講者の興味・ニーズ等を分析するなど受講集団にマッチした内容となるよう更なる工夫を期待します。

また、本事業をもっと利用してもらえるよう、毎年関係者に対し根気よく周知を図ることが必要です。

さらに、研修参加者の男女別データだけでなく、年齢別データや研修を受けての感想なども収集すると、今後研修内容をより理解しやすく効果的なものとなるよう改善していくための参考となるでしょう。

施策名	あらゆる人々への意識啓発の展開
担当課	男女共同参画課

重点(1)あらゆる人々にとっての男女共同参画の推進

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	1
2月補正予算額(千円)	340			決算額(千円)	330		
事業の概要・目的	女性だけでなく、男性、高齢者、若者、子ども等の視点からも男女共同参画を捉え、誰もが暮らしやすい地域づくりの取組を促進するため、市町村との共催により、家庭生活や地域活動等における男女共同参画の促進をテーマとした講演会等を開催する。						
数値目標など							
指標名等	講演会開催回数						
目標	4箇所	実績	4箇所				



2 事業実績・評価等

(1) 施策の実施結果

県内4箇所で、防災、家族、イクメン等をテーマとした講演会を開催した。

(2) 男女共同参画の視点が施策に反映できているか・改善すべき点はないか

〈反映できている点〉

① 企画段階

男女双方が参加できるように、土曜日または日曜日の開催とした。
また、講演中は託児サービスにより、子育て中の家庭でも参加しやすいように配慮した。

② 施策の効果

それぞれの講演会を通して、約350人の参加があり、固定的な性別役割分担意識などに気づく契機となったと思われる。個人が性別にとらわれることなく、それぞれの個性を生かし、自己の選択と責任において様々な分野に参画できるということを啓発できた。

〈課題・改善すべき点〉

① 効果的な施策の企画・運営

募集定員に満たない講演会もあり、多くの地域住民に参加してもらうために、より効果的な広報や開催スタイルを研究する必要がある。

3 男女共同参画の視点から施策に課題がある場合、改善するにはどのようにしたらよいか

① 効果的な施策の企画・運営

より多くの参加者を見込むためには、地域住民が常日頃から利用する施設（公民館、保育園・学校施設等）で開催するなど開催場所の見直しや、市民が日頃利用するメディアで効果的に広報を行うなどの見直しが必要と考える。

4 男女共同参画の視点からの委員意見

企画・運営に当たり工夫と努力をしているにもかかわらず、参加者数が少なかった回があったことは残念でした。「あらゆる人々への意識啓発」を目的とした事業であるからには、講演会への参加人数は1回当たり100名以上を目指してください。

講演会開催の広報についても、より早く・広く展開する必要があります。「興味のある方はどうぞ」という「待ち」の姿勢から「参加してください」という「積極的な姿勢」を持って広報活動してください。また、市町村担当者から事前に申し込み状況等について中間報告を聴取し、必要な助言や働きかけを行うなど、市町村と十分連携し、県も多くの参加が得られるよう積極的に関与してください。

さらに、市町村以外の各団体とも連携・協働し、企画・広報等を進めると、参加者の増加等につながります。

重点(1)あらゆる人々にとっての男女共同参画の推進

《第3次千葉県男女共同参画計画》平成23年度施策 評価シート

施策コード

6

施策名	ちば県民共生センターにおける相談事業の実施
担当課	男女共同参画課（男女共同参画センター）

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	2
2月補正予算額(千円)	26,641			決算額(千円)	26,627		
事業の概要・目的	一人ひとりがそれぞれ自立し、自分らしく生きていけるように、女性及び男性の総合相談窓口として一般相談及び専門相談を実施する。また、配偶者暴力相談支援センターとして、DV被害女性の相談・カウンセリングに応じる。						
数値目標など							
指標名等	-						
目標	-	実績	-				

2 事業実績・評価等

(1) 施策の実施結果

相談総件数は 6,760件（うちDV相談件数 1,302件）あった。22年度の件数（総件数 6,805件、DV件数 1,125件）と比較すると、総件数は多少減っているが、DV件数は増えている。

(2) 男女共同参画の視点が施策に反映できているか・改善すべき点はないか

〈反映できている点〉
女性及び男性相談については、指名業者選定審査委員会で選定された相談業者に委託又はフェミニストカウンセラー等に依頼して対応しているため、男女共同参画の視点に立った相談を行うことができています。

〈課題・改善すべき点〉
男性相談について、女性相談に比べて回数が少ないとの意見もあるが、現在の相談件数を考えると実施日数等を増やす必要性はないと考える。今年度予算の関係で女性の相談日数が減ったが、今後、相談者のニーズに応じて、実施日数、曜日、時間帯等を検討していく必要がある。

3 男女共同参画の視点から施策に課題がある場合、改善するにはどのようにしたらよいか

〈課題・改善すべき点〉
今後、相談件数の状況の推移や相談者のニーズを把握し、利用しやすい曜日、時間帯等及び日数を検討するため、相談員等と連絡を密にし情報収集及び関係機関との協議等により、適切な相談事業を実施したい。

4 男女共同参画の視点からの委員意見

相談時間・曜日を相談者が利用しやすいように工夫されており、一定の効果을あげていると評価します。

今後は、相談員に対する定期的な研修、個別事案の検討、相談員の男女共同参画意識の向上などに、県も深く関与して、引き続き相談員の資質向上を図ってください。

また、予算上の制約はあると思いますが、相談時間等についても、相談者のニーズを十分に把握し、それに応えるものとなるよう、配慮してください。

重点(1)あらゆる人々にとっての男女共同参画の推進

《第3次千葉県男女共同参画計画》平成23年度施策 評価シート

施策コード

7

施策名	男女共同参画苦情処理制度の活用
担当課	男女共同参画課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	2
2月補正予算額(千円)	166			決算額(千円)	49		
事業の概要・目的	男女共同参画社会基本法等の趣旨に則り、男女共同参画に関する県の施策について、県民等から苦情の申出があった場合、千葉県男女共同参画苦情処理委員が公正・中立な立場から調査を行い、適切かつ迅速に処理する。						
数値目標など							
指標名等	-						
目標	-	実績	-				

2 事業実績・評価等

(1) 施策の実施結果

平成23年度は1件の苦情申出があり、千葉県男女共同参画苦情処理委員へ調査を依頼し、調査結果報告を苦情申出人に対し通知した。
 【苦情の内容】元妻が県内の一時保護施設からの保護を受け、それ以降、子どもの連絡先がつかめず面会交流ができない。

(2) 男女共同参画の視点が施策に反映できているか・改善すべき点はないか

〈反映できている点〉
 ①制度の運用
 本制度を通じて、男女共同参画に関する県の施策について、県民からの苦情や意見を幅広く把握し、適切に施策に反映させていくことができる。
 県民の苦情・不満等に丁寧に対応し、男女共同参画に関する県施策への理解を深め、行政への参加意識を高めるとともに、それにより県行政自らでは気づきにくい視点の提供を受け、男女共同参画社会の形成に向けて県施策の改善・見直しを行う契機となることを期待できる。

〈課題・改善すべき点〉
 特になし

3 男女共同参画の視点から施策に課題がある場合、改善するにはどのようにしたらよいか

4 男女共同参画の視点からの委員意見

本事業は、県の男女共同参画に関する施策についての苦情を処理するものですが、事業内容が県民にとって理解しにくい面もあるため、制度が利用しやすいものとなるように広報の方法等を検討し、より良い制度となるよう引き続き努力してください。

重点(1)あらゆる人々にとっての男女共同参画の推進

《第3次千葉県男女共同参画計画》平成23年度施策 評価シート

施策コード

8

施策名	千葉県男女共同参画推進連携会議の充実
担当課	男女共同参画課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	3	
2月補正予算額(千円)	847			決算額(千円)	524			
事業の概要・目的	県と連携しながら民間における男女共同参画の自主的な取組を推進することを目的に、産業・地域・教育分野における県域組織の71団体で構成された男女共同参画推進連携会議により、県と団体・団体相互の意見・情報交換や研修会、講演会等を開催するとともに、団体及び参加団体へ幅広く働きかけを行う。							
数値目標など								
指標名等	—							
目標	全体会1回 合同部会1回 各部会2回	実績						全体会1回 各部会2回

2 事業実績・評価等

(1) 施策の実施結果

防災分野における男女共同参画、経済活性化と男女共同参画等をテーマとして、全体会を1回、各部会2回開催した。
また、男女共同参画推進連携会議に関する国・県や加入団体、関係機関の啓発セミナー等の情報提供やポジティブアクション、女性登用等の働きかけを行った。
さらに、連携会議加入団体同士の情報共有を促進し、連携を強化するため、メーリングリストの開設準備をした。

(2) 男女共同参画の視点が施策に反映できているか・改善すべき点はないか

〈反映できている点〉
防災や経済といった新しいテーマを取り上げることにより、これまで男女共同参画の視点が入りにくかった分野における男女共同参画について理解の浸透が図られた。また、連携会議を通じて、男女共同参画に関する様々な情報提供や働きかけを行うことができた。

〈課題・改善すべき点〉
講座等については、参加者が連携会議の加入団体・関係者にとどまっていることから、より広く一般を対象とする事業を実施し、発信力を高めていく必要がある。
また、社会のあらゆる分野における男女共同参画の自主的な取組を推進するためには、より実践的で身近な取組事例等の情報の共有や、国内外の男女共同参画を取り巻く状況についての理解を深めるとともに、連携会議の加入団体のみでなく、その傘下・加入団体への働きかけが重要である。

3 男女共同参画の視点から施策に課題がある場合、改善するにはどのようにしたらよいか

講座等については、構成団体等との共催形式とする等により、規模拡大、広報協力等を行い、参加の促進、広く一般に向けた発信力の強化等に取り組む。
また、引き続き県からの情報提供、働きかけを行うとともに、構成員間での情報交換・情報共有を促進する。

4 男女共同参画の視点からの委員意見

各部会・全体会で開催された研修テーマ・講演内容は一般の県民にとっても身近で興味あるテーマなので、構成団体向けの広報だけではなく一般県民に向けた広報方法についても検討するとアピール力が向上し、幅広い参加が得られ、事業効果が一層向上します。
また構成団体との共催による実施は、企画・広報等協働して大変効果的であり、さらに進めてください。
構成団体とのメーリングリストの開設準備が進められていることは、さらなる連携強化につながるものとして期待します。

重点(1)あらゆる人々にとっての男女共同参画の推進

《第3次千葉県男女共同参画計画》平成23年度施策 評価シート

施策コード

9

施策名	千葉県男女共同参画社会づくりネットワーク会議の充実
担当課	男女共同参画課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	3
2月補正予算額(千円)	235			決算額(千円)	225		
事業の概要・目的	県内の男女共同参画社会を目指す各団体の組織力を高め、異分野で活動する団体が、協力しながら、男女共同参画社会づくりに関わる団体間のネットワークを構築する。						
数値目標など							
指標名等	-						
目標	-	実績	-				



2 事業実績・評価等

(1) 施策の実施結果

千葉県男女共同参画社会づくりネットワーク会議 実施日：平成23年12月8日 テーマ：豊かなネットワークづくりをめざして ～踏み出そう、つながることへの第一歩～ 参加者：60名

(2) 男女共同参画の視点が施策に反映できているか・改善すべき点はないか

<p>〈反映できている点〉 団体の代表者から成る実行委員会形式とすることにより自主性を生かした事業が企画・実施され、その過程を通して相互理解と連携が深まった。また、当日も団体等から多くの参加と交流があり、団体間のネットワークづくりに貢献している。</p> <p>〈課題・改善すべき点〉 近年、女性団体の活動は、高齢化・固定化・停滞等の問題を抱えている。彼らの活動が活性化し、ネットワークづくりが進むよう、効果的な事業内容を検討する必要がある。 また、ネットワーク会議の活動が、より男女共同参画の推進に資するものとなるようにする必要がある。</p>

3 男女共同参画の視点から施策に課題がある場合、改善するにはどのようにしたらよいか

次年度も自主性を生かした実行委員会形式とし、講座のテーマ、講師、開催形式等を検討し、実施していく予定である。
--

4 男女共同参画の視点からの委員意見

<p>男女共同参画社会の実現を目指す団体相互のネットワークは重要です。 団体が抱える運営上の課題等の解決に向けて、団体相互で情報を共有し、お互いの活動を見えやすくするためには、さらなる連携（ネットワークづくり）を進めていく必要があります。</p>

重点(1)あらゆる人々にとっての男女共同参画の推進

《第3次千葉県男女共同参画計画》平成23年度施策 評価シート

施策コード **10**

施策名	千葉県男女共同参画地域推進員制度の充実
担当課	男女共同参画課

1 事業の概要

基本目標	I	基本的な課題	1	施策の方向	①	施策番号	3
2月補正予算額(千円)	1,720			決算額(千円)	1,386		
事業の概要・目的	<p>男女共同参画社会の実現は、県の取組だけで実現できるものではなく、市町村、事業者、県民一人一人がその大切さや必要性を理解し、それぞれが主体的に取組を進めることが何よりも重要である。また、本県における男女共同参画への取組状況や課題は地域によって異なることから、男女共同参画社会づくりを効果的に推進するためには、それぞれの地域特性を踏まえた取組が不可欠である。</p> <p>そこで、地域における県や市町村とのパイプ役となり、地域に根ざした活動を行う「男女共同参画地域推進員」(以下、「推進員」という。)を、各市町村から推薦を受けて知事が委嘱することにより、県民、市町村、県が一体となった男女共同参画の推進を目指す。</p>						
数値目標など							
指標名等	千葉県男女共同参画地域推進員設置市町村数						
目標	40市町村	実績	40市町村(H24. 3.31)				

2 事業実績・評価等

(1) 施策の実施結果

平成23年度末には、40市町村、69人の推進員を委嘱している。

【活動内容】 県内7地域で推進員の企画によるフォーラム等を実施 (17事業 参加者数 1,704名)

(2) 男女共同参画の視点が施策に反映できているか・改善すべき点はないか

〈反映できている点〉

- ①平成18年度に本事業を開始して以来、活発な活動が行われて、地域住民の男女共同参画についての意識啓発に寄与している。
- ②活動を通じて、地域推進員自体の男女共同参画への理解が深まり、男女共同参画を担う地域人材の育成という効果も出ている。
- ③中学生を対象とした手づくりの寸劇を行うなど、企画も充実してきており、若い世代の男女共同参画に対する気づきのきっかけづくりに効果的な企画・運営ができた。
- ④公民館や学校等への出前講座も実施しており、地域に根ざした取組の促進に大きく寄与している。

〈課題・改善すべき点〉

市町村からの推薦をもとに地域推進員を委嘱しているところであるが、H24. 3. 31現在、14市町村において地域推進員が未設置である。
また、中高年女性が多く、若年世代や男性が少ない。

3 男女共同参画の視点から施策に課題がある場合、改善するにはどのようにしたらよいか

- ・地域推進員未設置市町村に対し地域推進員の推薦を働きかけるとともに、全ての市町村に対し若年世代や男性についても積極的な推薦を依頼していくことが必要である。
- ・公民館や学校への出前講座など、地域に根ざした活動をさらに充実させていく必要がある。

4 男女共同参画の視点からの委員意見

本事業は、地域での男女共同参画を推進していくうえで大変重要な施策であり、年々充実した取組となってきましたが、引き続き未設置市町村への働きかけや、若年層推進員の開拓を進め、さらに地域推進員が増加するよう努力してください。地域推進員は日中仕事を始め他の活動を抱えています。地域推進員の人数が増加すれば、推進員一人ひとりの負担が軽減されます。

さらに、推進員が県・市町村や地域のNPOと連携する意識を持ち、両者の橋渡し役となる姿勢を持つよう指導してください。

また、地域推進員の積極的な活動を促すために、表彰制度等インセンティブを付与する方法も検討してください。